

がん免疫研究をはじめとしたライフサイエンス分野のイノベーション創出に向けた研究開発への支援（企業版ふるさと納税）に係るデザイン作成について（案）

1 目的

京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター(以下「京都大学 CCII」という。)では、これまで治療が困難であった多くのがん患者に新たな希望をもたらす「次世代がん免疫治療」の研究開発を加速させること等を目的に、全国の企業から企業版ふるさと納税によるご支援をいただきながら、京都大学 CCII 及び市内の大学や企業等における研究開発の支援を推進する取組を行う予定である。

本件は、企業版ふるさと納税を活用した寄付金獲得に向けて、効果的な広報発信業務を委託するものである。

2 デザイン作成にあたって

以下の事業概要(案)を参考に、対象者(ふるさと納税による寄附を検討している企業)に制度を広く周知するため、分かりやすく、伝わりやすいチラシ(A4判・縦・カラー)の案を制作すること。チラシの掲載については、ふるさと納税を使用することによる節税効果と、がん免疫総合研究センターによる研究開発を支援する意義を分かりやすく盛り込んだデザインとされたい。

【事業概要】

がん免疫療法は、手術・放射線治療・抗がん剤治療に続く「がん治療の第四の柱」として世界的に注目されている。その礎となったのが、2018年にノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑特別教授による京都大学発の研究である。

がん免疫療法は、これまで治療が困難であった多くのがん患者に新たな希望をもたらしてきたが、一方で、依然として半数以上の患者には十分な治療効果が得られておらず、「がん克服」の実現にはさらなる研究の進展が求められている。京都大学 CCII では、この課題の克服に向け、次世代がん免疫治療の研究開発を推進している。

がん免疫研究は今なお発展を続けており、「がん克服」という人類共通の課題の解決に貢献するためには、長期的かつ安定的な研究開発支援が不可欠なものである。

こうした背景を踏まえ、京都市と京都大学は連携し、企業版ふるさと納税制度を活用した新たな研究開発支援の仕組みを構築する。本事業を通じて寄せられた企業からのご支援は、2分の1を京都大学 CCII に寄附し、残りの2分の1を京都市の「京都発革新的医療技術研究開発助成事業」等、市内の大学研究者やスタートアップ等の医療研究開発への支援の原資に活用する。

これにより、京都から生まれた研究成果の更なる発展を支えるとともに、がん免疫研究分野において京都が世界をリードする研究・イノベーションの拠点となることを目指す。

- 事業名
がん免疫研究をはじめとしたライフサイエンス分野のイノベーション創出に向けた研究開発への支援
- 開始日
令和8年8月17日(月)
- 寄附受付期間
毎年1月1日～12月31日(初年のみ8月17日～12月31日)
- 対象
企業版ふるさと納税を活用した企業からの寄附
- 寄附金の使途

割合	使途
1／2	京都大学 CCII へ寄附(がん免疫研究等をはじめとした研究開発の推進)
1／2	京都市の「京都発革新的医療技術研究開発助成」等の原資として、市内の大学研究者やスタートアップ等の研究開発支援に活用
- 寄附方法
京都市 Web サイト上にある寄附申出書にて、ご提出いただく。

【参考情報】

京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター公式サイト
<https://www.cci.med.kyoto-u.ac.jp/>

以上